

運河ルネサンスによる取組（品川浦・天王洲地区）

<令和6年度>

① TENNOZ PIER（天王洲ピア） 所有者：中川特殊鋼(株)

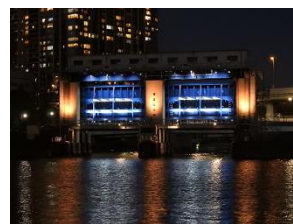


天王洲ピア

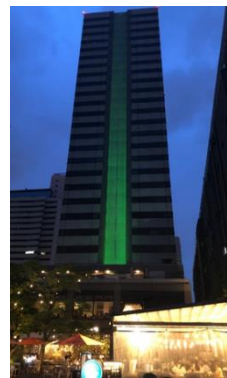
平成 25 年 10 月に天王洲運河に設置されたビジター栈橋である。屋形船等による運河や港内クルーズ等の発着場所として活用されている他、水上タクシーでの乗降にも利用されている。

栈橋を利用した水辺の賑いの創出を考えるとともに、地域の活性化につながる場となっている。

② 天王洲水門、天王洲セントラルタワーのライトアップ



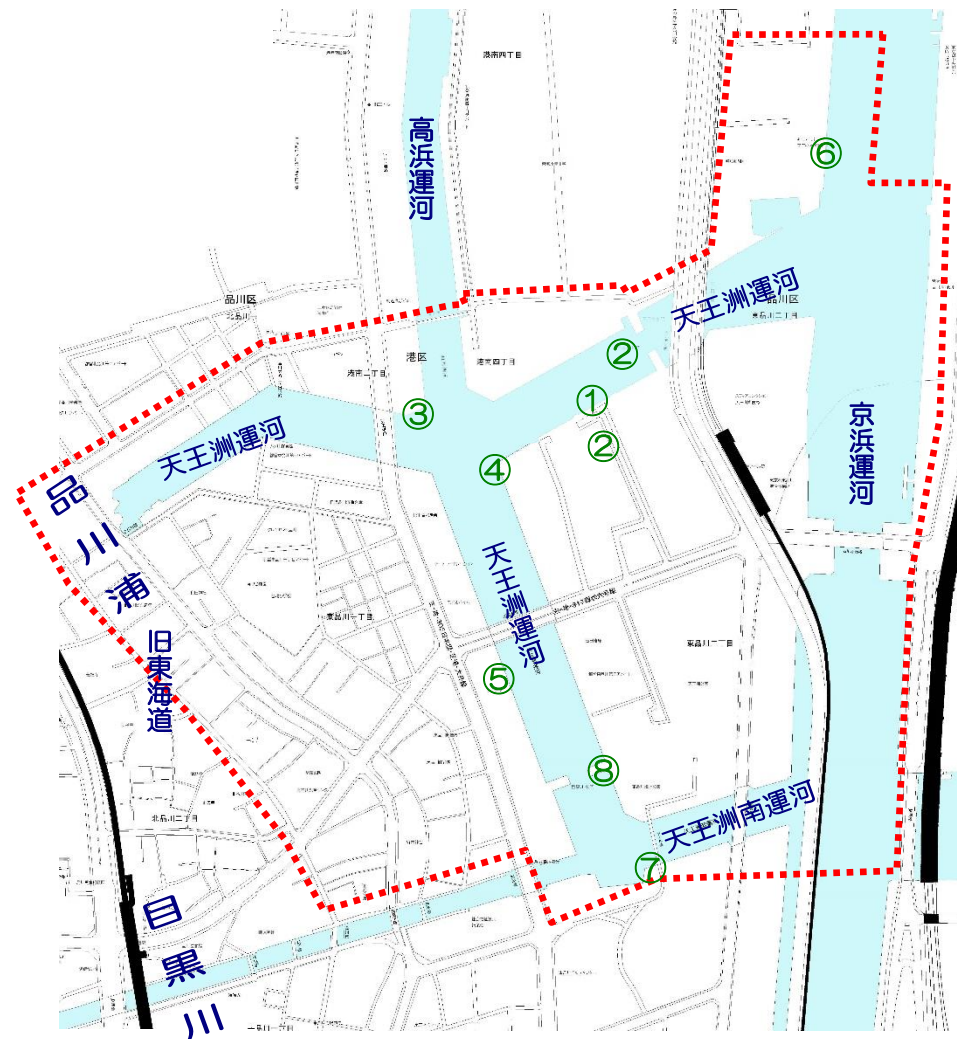
天王洲水門



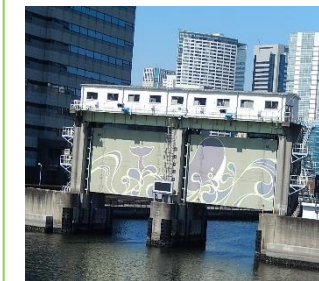
天王洲セントラルタワー

品川浦・天王洲地区の夜間景観向上を目的として天王洲水門と天王洲セントラルタワービルのライトアップを年間通して実施している。

※情勢により管理灯以外は消灯する場合もある。



⑧ 目黒川水門



目黒川水門

運河の景観向上を目指し目黒川水門の描き替えを提案し、平成 19 年度に鯨の絵が描かれた。舟運観光にも役立っており、これを機に「しながわ運河まつり」が始まった。

⑦ 東品川海上公園船着場 所有者：品川区

令和 4 年 3 月に品川区が設置した船着場である。SUP や E ボートの体験、イベント時の運河クルーズの発着として活用している。勝島地区の会員とも協力して体験会等を行っている。



東品川海上公園船着場

③ 運河安全航行の横断幕を設置 設置者：品川浦・天王洲地区運河ルネサンス協議会

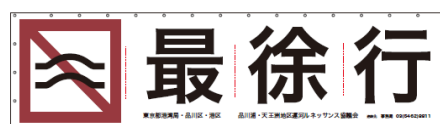
平成 19 年 2 月に、運河ルネサンス協議会が安全航行の啓蒙のため設置し、維持管理を行っている。



横断幕設置箇所



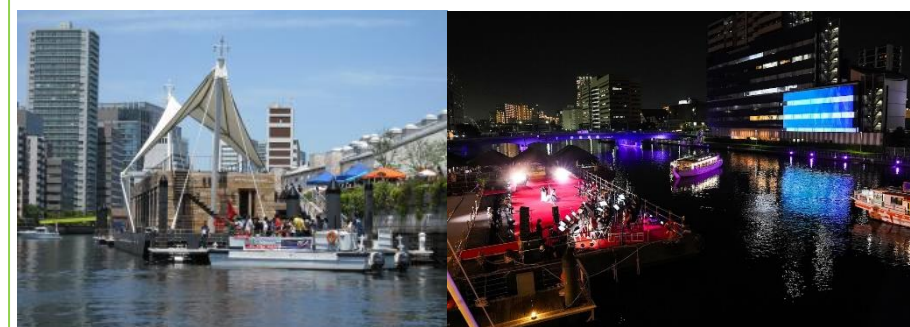
更新した横断幕



更新した横断幕のデザイン

④ 水上レストラン・ビジター栈橋・移動型多目的施設（WL2）所有者：寺田倉庫

平成 18 年 2 月に、運河ルネサンスの規制緩和の第 1 号として水上レストランとビジター栈橋（WL1）を設置した。平成 27 年度に、移動型多目的施設 WaterLine2、地元水域利用者が使える栈橋を設置した。令和 6 年度は、水辺を生かしたイベント「TENNOZ CANAL FES 2024」等を実施した。隣接の移動型の多目的施設（4 施設）についても、イベント時に使用している。

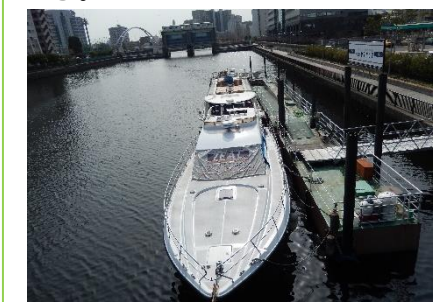


WL2 栈橋

イベントの様子

⑤ 天王洲ヤマツピア 所有者：(株)天王洲ヤマツピア

平成 18 年 7 月に、ウェディング栈橋として設置した。結婚式などのパーティークルーズ等の実績がある。レストランでの食事後に利用するクルーズや目黒川お花見クルーズの発着場所としても活用されている。



天王洲ヤマツピア

⑥ マリンステーション（栈橋） 所有者：ワールドシティタワーズ

平成 24 年 7 月に、運河ルネサンスの栈橋として設置した。チャータクルーズの乗降栈橋として住民等が活用している。



ワールドシティタワーズ栈橋

品川浦・天王洲地区
運河ルネサンス協議会

【協議会の活動】
H17.4 協議会設立
H17.6 推進地区指定
H24.7 運河ルネサンス地区の拡大